

平成26年度 部局長マネジメント方針

じょうた むのる
建設局長 上田 稔



私の決意

建設局では、「安全で住みよいまちづくり」をめざして、道路、公園などの都市基盤の整備や整備後の施設の維持管理を行っています。

建設局の喫緊の課題として、近いうちに起こるといわれている南海・東南海地震などの災害や危機に備え、災害時の第1次避難所としての機能を持つ小中学校校舎の耐震化について、全力を挙げて取り組んでいます。平成26年度は更なるスピードアップを図り、子供達が安心して勉学できる環境を整備し、平成27年度末の完了をめざします。あわせて、災害時に重要な役割を果たす防災関連施設の耐震化も図ってまいります。

また、主要路線に架かる重要な橋梁については、合理的・効果的な維持管理を行うため、長寿命化修繕計画に基づき、平成25年度から順次修繕・補強工事を実施しており、今後も引き続き計画的に実施してまいります。

住みよいまちづくりの観点からは、市民の利便性向上を図るための公共交通機関の整備として、本年秋頃に近鉄奈良線の全線高架切替をめざすとともに、都市計画道路大阪瓢箪山線などの関連事業についても、大阪府と緊密に連携し、早期完成に向け努力してまいります。また、JRおおさか東線の新駅設置についても、平成30年春の開業に向け、事業に必要な用地取得に努めてまいります。

また、市民の緑豊かな生活空間を確保するために公園整備はとても重要ですが、とりわけ本市のみどりの核として位置づけられている花園中央公園については、日常は子供や高齢者をはじめ誰もが安全に安心して利用できる生活に潤いと安らぎを与える緑豊かな憩いの場となるように、そして災害時には広域避難地としての機能を発揮する総合公園として、魅力的な園地整備を図ってまいります。

最後に、長田・荒本の新都心エリアにつきましては、大阪モノレール南伸に向けた動きなど新都心を取り巻く状況が大きく変わってきていることから、平成27年度、新都心の将来像を描くにあたり、その方向性について検討してまいります。

建設局職員一丸となり、市民の皆様のご協力とご理解のもと、効率的な業務・事業の推進に努め「安全で住みよいまちづくり」を推進してまいります。